

マザー・ジュリーの志 [Archives]



イングリッシュデー [1957]

中庭の風景 [1970年卒業記念アルバム]

ノートルダム清心女子大学は、その教育理念をキリスト教精神に基づいて、真なるもの・善なるもの・美なるものの追求においています。この理念のために本学は、リベラル・アーツ・カレッジとしての性格を大切にしています。すなわち、教育・研究を通して真の自由人の育成を志し、社会生活を遂行する手段を供するとともに、むしろそれ以上に生きることの意義をともに追求することを持つて大学の使命としています。

本学は19世紀初頭、子女教育に専念する目的を持って、フランスで創立されたカトリックの教育修道会、ナミュール・ノートルダム修道女会(Sisters of Notre Dame de Namur)を設立母体としています。ノートルダム修道女会創立者マザー・ジュリーは、フランス革命後の混乱期に、みずから病身をも顧みず、ひたすら信仰の建て直しに努力し、やがてよき協力者を得て修道会設立に至ったのです。



Archives

常にマザー・ジュリーの口にのぼったのは、「Ah, qu'il est bon le bon Dieu! 善き神のいかに善きことよ」という言葉でした。この信条を受け継いで、現在、2,100名を超える会員が、アメリカ合衆国、イタリア、イギリス、ベルギー、フランス、アフリカ、南アメリカ、日本で教育に携わっています。日本へは1924(大正13)年8月マサチューセッツ州ウォルサム管区から6名の修道女が初めて派遣され、岡山市で清心高等女学校の運営にあたり、現在に至っています。本学第二代学長シスター・エーモー・ジュリーはこの第一陣の6名のひとりであったのです。

1949(昭和24)年に岡山県下で最初の、そして唯一の女子大学として創立されたノートルダム清心女子大学は、すでに創立60周年を祝いました。今日、本学はアメリカ合衆国、イギリス、ベルギーに8つの姉妹大学を持ち、また欧米とアジアにまたがって13の留学協定大学をもっています。世界に開かれた大学として、21世紀のリーダーたらんとする人々にふさわしい学びの場を提供していきたいと考えています。

創立10周年記念展示会写真 [1959]



LL教室の風景 [1967年卒業記念アルバム]



図書館の風景 [1970年卒業記念アルバム]



実験室の風景 [1967年卒業記念アルバム]



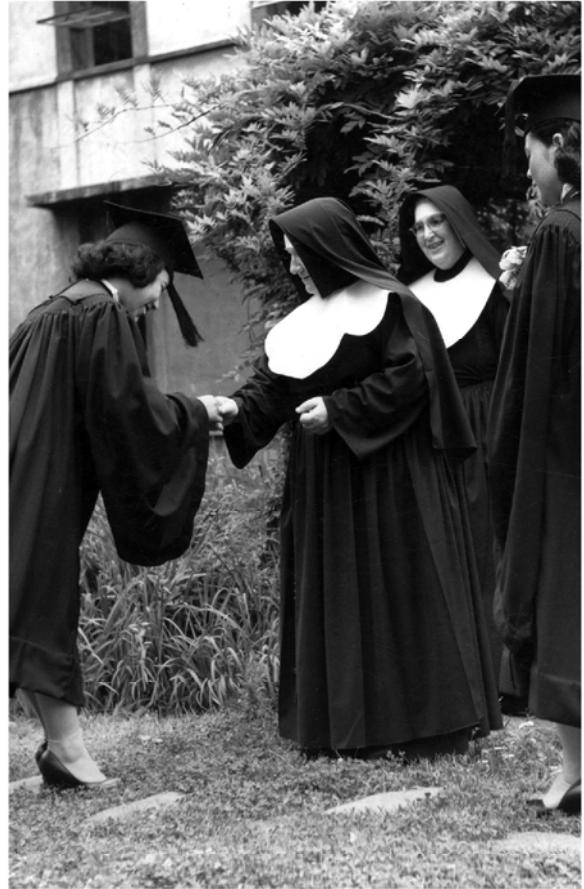


300Lでの授業風景 [1970年卒業記念アルバム]

第1回フード授与式 [1953]



プレジデンツデー [1958]



製図実習の風景 [1960年代]



N.D.S.C.TIMES vol.4 No.2 [1954年7月発行]より



8期生のクラスデー [1960]



創立10周年記念展示会写真 [1959]

